

皆様のご支援をお願いいたします

寄付者銘板への
お名前掲載

(10万円以上、
ご希望の方のみ)

寄付金
控除

優遇が受けられます

○ 資金使途

次世代外科・内視鏡治療開発センター(NEXT)に
必要な施設整備、医療機器の研究開発、教育・研修に係る資金に使用します

○ ご寄付への感謝

- 国立がん研究センター広報誌「日々歩」へのお名前掲載*
- 東病院NEXT棟内の寄付者銘板へのお名前掲載(10万円以上のご寄付が対象)*
- 東病院主催イベントのご案内* *いずれもご希望の方のみ

○ 寄付金控除の優遇

当センターへのご寄付には、特定公益増進法人への寄付として、**所得税・相続税・法人税の
税制上の優遇措置**があります。

詳しくはホームページ(国立がん研究センター>ご寄付のお願い>寄付控除等について)を
ご覧ください。

ご寄付のお申し込みはこちらから ▶



◎ お問い合わせ

国立がん研究センター東病院 事務部 寄付担当

電話番号 04-7133-1111 (内線 91460) FAX.04-7131-9960

Eメール nccifu@ncc.go.jp

受付時間 平日9時から16時

http://www.ncc.go.jp/information/donation/donation_Next.html

NCCJ | 国立がん研究センター
National Cancer Center Japan | **東病院**

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

TEL 04-7133-1111(代)

<http://www.ncc.go.jp/jp/ncc/index.html>

N E X T

Center of New Surgical and Endoscopic Development for Exploratory Technology

次世代外科・内視鏡治療開発センター

ご寄付のお願い



国立がん研究センター東病院では、がん患者さんが『最先端の医療機器や医療技術を用いたがん診断』『低侵襲治療が提供されることによる次世代型医療』を享受できるよう、2017年に「次世代外科・内視鏡治療開発センター(NEXT)」を開設いたしました。

NEXTでは

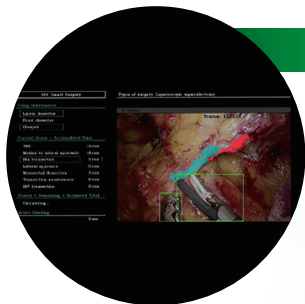
- 1) 現在利用しうる最先端の医療技術を提供すること
- 2) 次世代に望まれる、臨床ニーズの高い医療機器や技術を開発すること
- 3) 新規開発により生み出された新医療を速やかに臨床現場に届けること
- 4) 次世代のがん医療のリーダーたる医療者を育成すること

を実現し、がん患者さんに最先端の医療を届けるとともに、世界に確たる日本のがん治療を継続的に発展すべく日々精進しております。

今後も、既存のがん治療の枠組みを超えた次世代型治療の実現を目指すため活動を続けてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

NCCJ | 国立がん研究センター
National Cancer Center Japan | **東病院**

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院



AI・デジタル機器開発

診断や治療を支援するAIの研究開発を行っています。AIを構築するためにはAIエンジニアや演算装置が必要です。皆さまからいただいた寄付金を人材の確保や機器の整備に使わせていただき、デジタルトランスフォーメーションに取り組んでいます。



手術機器開発

手術で使用する医療機器やトレーニングデバイスの開発に取り組んでいます。開発した試作を模擬手術室で評価し、臨床への応用を目指しています。皆さまのご寄付で臨床応用につながった案件もございます。患者さんがより良い手術を受けられる未来を実現するために邁進しています。

“次世代型治療の実現”でがん患者さんに最先端の医療を届ける

トレーニング室

最先端の外科手術や内視鏡治療を学ぶべく全国から多くの若手医師が集まっています。手技習得のためには日々の鍛錬が不可欠です。皆さまからいただいた貴重な寄付金で新たな機器や設備の導入、トレーニング用消耗品の購入など環境を整えています。皆さまのご寄付に感謝しながら、若手医師は明日の名医を目指して日々励んでいます。



内視鏡機器開発

診断支援AI、新しいイメージング技術、新規治療デバイスなどの開発を行っています。また、患者さんの苦痛を軽減するデバイスや若手医師向けのトレーニングモデルの開発も進めており、多角的なアプローチで患者さんにより良い医療を提供できるよう研究開発を行っています。



内視鏡センター

1F



最大規模であり、16室の最新設備を備えた検査・治療エリアを有します。多職種の専門スタッフによるチーム医療で、安全で高度な内視鏡診療を提供しています。また、AIや最新技術を活用した早期がん診断や低侵襲治療、再発したがんの治療にも積極的に取り組んでいます。

NEXT医療機器開発センター 病理・臨床検査科

2F



NEXT医療機器開発センターでは、医療機器イノベーションの創出と社会実装を目指し、産学官・医工連携、臨床現場からの開発、伴走支援を行っています。

病理・臨床検査科では、臨床病理学的研究や新規診断技術、治療機器の評価や開発サポートを行っています。

ICU 中央材料室

3F



ICUは、独立した換気システムを有し、重症感染症や免疫不全患者にも対応しています。

中央材料室は、医療現場で使用する器材の点検や洗浄・滅菌を担当します。日々の確実な器材管理が安全な医療を支え、より高度な医療の提供を可能にしています。

手術室

4F



手術室は13室からなり、高度な外科手術を多くの患者さんに提供しています。ロボット支援下手術や腹腔鏡下手術に関しては専用室を設けています。

daVinciは3台がフル稼働しているほか、当院発のベンチャー企業が開発したANSURを本邦で初めて臨床に導入しています。